

令和6年度「吹田市地域防災計画」修正の概要

1. 地域防災計画修正の背景

- 令和6年能登半島地震で本市職員も現地に派遣され、災害対応にあたった。その際に見出された課題を踏まえて、吹田市の特性に合わせた修正が必要となっている。併せて、近年の防災施策の進展等を踏まえて令和6年6月に国の防災基本計画が修正されたことに伴い、本市地域防災計画も最新の防災対策の動向に合わせた修正を行う必要がある。

2. 主な修正内容

1 令和6年能登半島地震を踏まえた見直し

- 能登半島地震での災害マネジメント支援等の経験を踏まえて、吹田市の特性や現状を鑑みて本市でも起こりうる課題への対策を検討し、外部人材の活用・受援を前提として計画の見直しを行った。

【主な修正項目】

(1) 市独自見直し

- ☐ トイレの耐災害性の充実強化推進（循環型、衛生的環境確保型）
- ☐ 物資管理及び輸送等の役割について明確化
- ☐ 他自治体応援職員の受け入れ態勢に関する事項の明確化
- ☐ スフィア基準を踏まえた避難所機能の充実
- ☐ 避難所運営体制の省力・効率化
- ☐ デジタル化による避難者生活再建支援の迅速化推進
- ☐ 途絶しない通信体制の整備（衛星アンテナ等）

(2) 国、大阪府の修正を踏まえた見直し

- ☐ 避難所環境（通信環境、衛生環境等）の充実化

2 各部局の意見等に伴う修正

- 各部局が現状を踏まえて、有事の際に迅速に行動できるよう見直しを行った。

【主な修正項目】

- ☐ 各部局における、国や大阪府等の見直しにおける修正
- ☐ 時点修正